

「公益財団法人 JFE21 世紀財団」2016 年度 アジア歴史研究助成 募集要項

1. 助成対象となる研究

「21 世紀アジアと共存共栄するための、日本の産業と文化の Vision 構築に資するアジア歴史研究」

アジアの各地域はいずれもきわめて複雑な歴史をたどってきた。その結果として今日の政治、経済、社会、文化状況がある。本研究助成は、歴史的経緯を踏まえながら現況を直視し、未来を考える研究を対象とする。また、アジア各地域と日本の関係についての歴史と記憶の研究も含む。

なお、研究対象地域は下記の範囲とする。

北・東アジア(日本、朝鮮半島、中国、モンゴル、ロシアの一部)、東南アジア、インド亜大陸～西アジア(中近東)、中央アジア～カフカス地域

* 実質的に既に完了している研究や、特定機関からの委託研究は対象外とする。

* 上記条件に該当しない応募は、事務局判断で審査委員会に上申しない場合もある。

* 助成研究は公開を前提とする。(本財団にて助成研究報告書を発行、本財団 HP で公開)

2. 助成件数と助成金額

10 件 (原則)、1 件あたり 150 万円、総額 1,500 万円

* 助成金は代表研究者の所属する大学・研究機関に交付(指定銀行口座に 16 年 12 月に振込)

* 助成金の使途は、参考書籍・文書購入費、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金等で、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

3. 研究期間 原則 1 年間 (2017 年 1 月研究開始、同年 12 月終了、2018 年 1 月報告書提出)

但し、2 年間で上限として延期・延長を可とする (その場合 2019 年 1 月報告書提出)。

4. 応募資格

日本の国公立大学または公的研究機関に勤務(常勤)する研究者であって国籍は問わない。なおグループでの研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は 3 名以内で、大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に所属する研究者も可とする。2013～2015 年度の本研究助成を代表研究者として受領した者は、代表研究者としての応募はできない。

5. 申請の手続き

本財団ホームページ (HP) の申請様式に記入し、Email で事務局に送信

財団 HP <http://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始 4 月 27 日 (水) : 締切 6 月 24 日 (金)

* 記入と送信の要領は申請様式に掲載、ペーパーレス申請につき郵送は不可とする。

6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

本財団委嘱の審査委員による審査・選考を経て本財団理事長が決定し、9 月末に応募者に結果を通知の後、本財団 HP 等で公表する。

委員長 染谷臣道 (静岡大学名誉教授、比較文明学会前会長、名誉理事)

委員 梅村 坦 (中央大学総合政策学部教授)

菊池秀明 (国際基督教大学教養学部教授)

7. 助成受領研究者の義務と条件等

(1) 助成受領者は、本財団と「アジア歴史研究助成覚書」を交換

(2) 助成金の受領手続き(本財団所定の寄付申請書により大学・研究機関事務部に手続きを依頼)

(3) 贈呈式への代表研究者の出席(東京において 12 月上旬予定、出席費用は本財団負担)

(4) 研究終了後、研究成果報告書(公開前提)と会計報告書を提出

(5) 研究論文等において本財団から助成があった旨を記載すること。

以上

「公益信託田島毓堂語彙研究基金」研究助成募集要項
(平成28年度実施要項)

この公益信託は、設立者である田島毓堂氏の語彙研究における思いから、言語学の中で、語彙研究(日本語・外国語)の発展を図り、もって学術の発展に寄与することを目的に設定されたものです。

平成28年度事業のひとつとして、研究助成の対象となる研究計画を下記要項にて募集いたします。『研究助成』は、語彙研究に関する優れた個人研究または共同研究に贈呈するものです。これまでの研究助成一覧については、語彙研究会のウェブサイトの「授賞の記録」に掲載されています。 http://www.aichi-gakuin.ac.jp/~goi-ken/kikin_history.html をご覧下さい。

記

1. 応募資格

大学・大学院の教員、又は大学院博士課程(前期・後期)に在籍する学生若しくは運営委員会が認める者(国籍は問わない)で、これまでに本助成金を受給した実績のない方。

2. 応募方法

研究助成を受けようとする方は、次の各号に掲げる書類を提出して下さい。

(1) 応募申請書

* 応募申請書は以下のホームページに掲載されています。

<http://www.aichi-gakuin.ac.jp/~goi-ken/>

(2) 応募資格を証明する書類

- 共同申請でも可。
- 応募に当たって提出いただいた書類は一切返却いたしません。
- 前年以前と同テーマでの応募は選考対象外となります。
- 応募申請書は日本語で書かれたものに限定します。

3. 応募期間

平成28年5月13日(金)から平成28年6月30日(木)【当日消印有効】

4. 助成対象者の決定

助成対象者は、提出書類に基づいて、運営委員会の審査により決定します。

5. 助成対象者の発表

平成28年8月末までに、直接本人宛通知します。

6. 助成件数・金額

最大3件程度・総額50万円以内とし、運営委員会にて研究内容等を勘案して個々の助成対象者に対する助成金額を決定します。

7. 助成方法

研究助成金は、平成28年9月開催の語彙研究会での席上、直接ご本人に贈呈します。

【裏面へ続く】

8. 研究成果

平成30年3月末までに規定の研究成果報告書と会計報告書をご提出いただきます。また、助成後2年以内に論文を公表していただきます。（詳細は助成対象者に通知します）

9. 申込み及び問合せ先

<公益信託 田島毓堂語彙研究基金事務局>

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部公益信託課 担当 渡辺 友永

TEL 0120-622372 (フリーダイヤル)

(受付時間 平日9:00~17:00 土・日・祝日等を除く)

「公益信託 田島毓堂語彙研究基金」研究助成応募申請書

公益信託 田島毓堂語彙研究基金 平成 年 月 日
 受託者三菱UFJ信託銀行株式会社 殿

この応募申請書および添付した資料に記載されている事項は、研究助成の助成対象者の選考等、当公益信託の運営に必要な範囲で、当公益信託の運営委員・信託管理人・委託者が取得・利用すること、また、助成が決定した場合は、氏名・所属先等の情報が主務官庁へ提出されることについて、同意の上応募します。

(ふりがな) 氏名	(印) _____ 年 月 日生)		
所属先・職名	_____		
現住所	(〒 _____) <div style="text-align:right">電話(_____) FAX(_____)</div>		
連絡先	(〒 _____) <div style="text-align:right">電話(_____) FAX(_____)</div>		
e-mail アドレス	_____		
研究課題	_____		
助成希望金額	_____万円	予算 総額	_____万円

研究の概要・目的・意義
 (先行研究との関連についても論じて下さい)

受託者は、個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、応募者の個人情報を、公益信託業務を遂行するために必要な範囲内に限定して利用いたします。

研究方法・計画
(課題を明らかにするための方法や研究計画を具体的に。)

研究から期待できる成果

(研究助成)

研究の予算 総額 万円 (うち助成希望額 万円)

* 下記は助成希望額に対する明細を記入。

旅費(海外、国内別に)		機 器 類		調査研究諸費	
事 項	金 額(千円)	事 項	金 額(千円)	事 項	金 額(千円)
海外 運賃 滞在費				消耗品費	
				通信運搬費	
				借料・損料	
国内 運賃 滞在費				保険料等	
計		計		計	

資金計画

(研究計画との関係を明らかにしてください。また、既にこの研究のために獲得した助成金、申請中の助成金があれば記入してください。)

Blank area for funding plan details.

研究経歴書

(現在までの研究テーマについて概略を記入して下さい。また、既に発表した論文があれば、その論文名・掲載誌・発表年月日を記入して下さい。)

平成 28 年度 (公財)浦上食品・食文化振興財団
学術研究助成 募集要領

1. 助成の趣旨

本財団は、食品の生産・加工及び安全性等に関する研究・調査並びに食文化に関する教育及び普及啓発活動等を促進することにより、食品産業及び食文化の発展と食生活の向上・安定に資することを目的として 1986 年 4 月に設立されました。

本年度は、前年度に引き続き食品の生産・加工及び安全性等に関する研究を行っている大学等の研究機関に対し、研究助成事業を行い、食品・食文化の研究促進に役立ちたいと考えています。

2. 研究課題

※申請書に(1)～(5)の分類番号を明記してください。(必須)

- (1) 食品加工技術に関する研究
- (2) 食品と健康に関する研究 (=「香辛料」を研究材料にするものは(3)とすること。)
- (3) 香辛料食品に関する研究 (=「香辛料」を研究材料にするものすべてが該当します。)
- (4) 食嗜好に関する研究
- (5) 食品の安全性に関する研究

3. 研究助成の対象者

原則として上記「2. 研究課題」に掲げた課題の研究を日本国内で行っている研究者又はそのグループとします。

4. 交付要件

- (1) 申請課題について、他の機関から助成を重複して受けていないこと(除、科研費)。
- (2) 研究内容については、創造的、先進的であり、その研究の成果が広く学術研究等に資することが期待できること。
- (3) 助成金の交付により著しく研究の成果が得られるものであること。
- (4) 助成金を必要とする研究の計画と費用の合理性があること。
- (5) 本研究又は調査の結果は、本財団所定の様式による研究報告書にとりまとめ提出するとともに本財団の事業として公表することをご了承のこと。
- (6) 本財団所定の様式による申請であること、申請書には助成を希望する研究課題、ねらい、計画・手法、所要経費、研究体制等必要事項が明示されていること。

5. 研究助成額等

- (1) 研究助成額は 1 課題につき 300 万円を限度として、研究計画等を選考委員会において審査のうえ本財団が決定します。
- (2) 原則として上記「2. 研究課題」のジャンルごとにそれぞれ 1～3 件採用する予定です。

6. 研究期間

平成28年10月から29年3月までの間に研究を開始すること

研究期間は12ヶ月程度（必要に応じて13～24ヶ月についても採用することがあります。）

7. 申請手続き及び受付期間

〔申請受付期間〕

平成28年6月1日から同年7月10日まで

〔申請手続き〕

本財団のホームページの研究助成申請用ページの申請フォームに必要事項をご記入ください。申請用のフォームは5月20日ごろに財団ホームページにアップする予定です。また、募集要領並びに記載要領を逸脱したものについては申請を受理しない場合があります。

(1) 申請書類は返却しません。

(2) いただいた個人情報は、研究助成に関する事業及び、財団が行う事業に資する場合にのみ使用します。申請書の記載事項のうち、個人情報とは自宅など研究機関以外の住所、電話番号及び年齢であり、それ以外は公開することがあります。

9. 選考決定通知

採用された方には9月中旬にご通知する予定です。

10. 贈呈式・助成金交付予定

贈呈式は10月中旬東京において開催されます。贈呈式とともに研究助成事業に関する事務書類・手続きの説明会がございますので、原則として助成対象になられた研究代表者の方に出席していただきます。

また、助成金の交付は贈呈式及び説明会終了後、必要書類が整い次第、研究の実施に支障のないよう配慮して交付いたします。

11. 研究結果等の報告

研究期間終了後原則として30日以内に本財団所定様式による以下の2点を財団ホームページに用意する助成対象者用ページにアップしていただきます。財団の確認後、印刷・押印の上で郵送にてのご提出もしていただきます。なお、研究報告書の提出が大幅に遅延し、又は当該申請書の内容とかい離している場合、並びに会計処理等に不合理があったと認められる場合は、助成金の一部又は全部の返却を求めることがあります。

① 研究報告書 1部

② 会計報告書 1部

（研究報告書提出後、当財団による現地調査を行うことがあります。）

【お問い合わせ先】

財団 HP のお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

お知らせ

- ・当財団では研究助成事業に賛同される方の寄付金を募っています。
- ・当財団は公益財団法人として「特定公益増進法人」の認定を受けていますので、寄付金は税法上の優遇措置が受けられます。

2016年度 DNP 文化振興財団 グラフィック文化に関する学術研究助成 募集要項

1. 助成の趣旨

人文社会科学、自然科学を問わず幅広い学問領域からグラフィックデザイン、グラフィックアートに関する研究テーマに対して助成を行い、わが国および世界のグラフィックデザイン、グラフィックアート文化の発展と、学術研究の振興に貢献することを目的とします。

2. 助成対象の研究分野

A 部門（グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする研究）

グラフィックデザイン、版画などのグラフィック文化に係る幅広い学問領域の研究。例えば、美術史デザイン史、美学芸術学、博物館学アーカイブズ学、美術教育学、比較文化論、画像工学、技法材料・保存科学、心理学、法学、経済学など。

B 部門（グラフィックデザイナー、田中一光に関する研究）

DNP 文化振興財団が保有する田中一光アーカイブ（作品、写真、書類、蔵書等、5 万点を超える資料群）を活用した、田中一光に関する研究。

3. 助成対象の研究者

グラフィックデザイン、グラフィックアートに関する研究を行う研究者の個人又はグループ。

- (1) 大学に在籍する研究者（教員又は大学院生）
- (2) 美術館学芸員
- (3) 大学院修了以上の研究者で、大学教授または美術館館長の推薦のある者
- (4) その他、上記に準ずる者

4. 助成金額

- (1) 年間の助成件数および各々の助成金額は審査委員会において決定します。一件ごとの助成金額は研究内容によって異なり、上限を 50 万円／年とします。
- (2) 同一内容での継続助成は 1 回を限度に認めます。継続助成を希望する場合は、初年度申請時に継続予定の有無を明示してください。継続の可否および助成金額は、2017 年 8 月時点の中間報告書（提出期日は初回助成金交付時に指示します）をもとに審査委員会において決定します。2 回目の助成金は中間報告書の審査後に交付します。なお、継続が認められなかった場合は、2018 年 3 月 31 日までにその時点までの研究実施報告を提出していただきます（提出物は、「8. 研究実施報告の提出」に準じます）。

5. 助成期間

- (1) 助成の期間は、2016 年 11 月から 2018 年 3 月 31 日までとします。
- (2) 継続助成の場合は、2016 年 11 月から 2019 年 3 月 31 日までとします。

6. 助成金の使途

- (1) 助成金の使途は、調査・研究を行うために必要な、旅費、会議費、謝金、消耗品費、資料費等の直接経費に限ります。
- (2) 申請者の所属組織の間接経費、一般管理費、オーバーヘッド等、並びに出版費、印刷費等は、助成の対象外とします。

7. 他財団の助成金

当財団の助成金と重複して別の助成を受けること、又は他の研究助成への併願は、これを認めません。

8. 研究実施報告の提出

助成研究者は助成期間終了後、日本語又は英語で以下の5点を提出するものとします。

- (1) 研究実施報告書(財団規定様式)
- (2) 研究論文(字数制限なし)
- (3) 要旨(8,000字または英文3,000ワード程度)
- (4) 概要(1,200字または英文450ワード程度)
- (5) 研究過程で参照した文献等の資料とその所蔵先のリスト

当財団におけるグラフィックデザイン、グラフィックアート研究の基盤構築のために、研究過程で参照されたグラフィック作品の受容史、社会機能史、制作史に関する諸資料については、その資料名・所蔵先等に関する情報提供・開示にご協力ください。

9. 研究成果の発表

助成研究者が助成研究の論文を学会誌等に掲載、又は出版する場合は、当財団から助成を受けたことを明記するものとします。また、当財団は助成研究の論文、又はその要旨、概要を当財団が発行する出版物、ウェブサイト等で自由に公表できるものとします。

10. 選考方法 および結果通知

助成の対象は審査委員会の選考により決定し、選考結果は文書で申請者に通知します。採択研究は当財団ウェブサイトで公表します。不採択の場合、選考の経緯・選考理由は開示しません。

11. 助成金の交付

助成決定者には採否の通知時に振込依頼書を送付します。振込依頼書が当財団に返送された後、振込依頼書に記載された口座に振り込みます。

12. 申請手続き

当財団ウェブサイトから申請用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、簡易書留(海外の場合はこれに類するもの)にて下記送付先に郵送してください。申請書は日本語もしくは英語でご記入ください。Fax、E-mailでの申請は受け付けません。

送付先

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル
公益財団法人 DNP 文化振興財団
研究助成係

13. スケジュール

申請期間.....2016年5月1日から2016年7月10日まで(必着)
選考結果通知.....2016年10月
助成金交付日.....2016年11月
研究実施報告書提出期日.....2018年3月31日(継続なしの場合)

14. 問い合わせ

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル
公益財団法人 DNP 文化振興財団
研究助成係
Tel: 03-5568-8224
Fax: 03-5568-8225
お問い合わせ: dnp-foundation-grants@mail.dnp.co.jp

15. 2016 年度審査委員

井口壽乃..... 埼玉大学教授
柏木 博..... 武蔵野美術大学教授
佐藤 卓..... グラフィックデザイナー、日本グラフィックデザイナー協会副会長
建畠 哲..... 多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長
並木誠士..... 京都工芸繊維大学教授、京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長
前田富士男 中部大学客員教授、慶應義塾大学名誉教授
※ 五十音順、敬称略

以上

松下幸之助
国際スカラシップ

人文科学 社会科学領域

2016年度 募集要項



助成対象者

国別実績

東アジア

韓国	24名
台湾	5名
中国	17名
モンゴル	1名

東南アジア

インドネシア	16名
カンボジア	10名
シンガポール	1名
タイ	15名
フィリピン	4名
ベトナム	11名
マレーシア	6名
ミャンマー	5名
ラオス	5名

南アジア

インド	17名
バングラデシュ	2名
ブータン	1名
ネパール	1名
パキスタン	2名

中央アジア

ウズベキスタン	6名
カザフスタン	1名

西アジア

イスラエル	3名
イラン	2名
ヨルダン	2名
シリア	1名
トルコ	4名

アフリカ

エジプト	2名
カメルーン(ガボン)	1名
ガーナ	1名
ケニア	1名
ジンバブエ	1名
スーダン	1名
セネガル	1名
トーゴ	1名
マリ	1名
南アフリカ	2名
モザンビーク	1名
モロッコ	3名
ルワンダ	1名
レソト	1名

ラテンアメリカ

アルゼンチン	2名
グアテマラ	1名
チリ	1名
ペルー	3名
ブラジル	2名
ボリビア	4名
マルチニク	1名
メキシコ	4名

助成対象者
累計
198名

特典2

ブックレット出版に
応募のチャンス

- 留学研究成果をブックレットとして出版する応募権



ブックレット

特典3

出版助成に応募の
チャンス

- 留学研究成果を単著の学術書として刊行



松下正治記念学術賞として出版



2013年度 俵 寛司氏
2014年度 水口拓寿氏

松下幸之助国際スカラシップ

松下幸之助記念財団の目的は、「諸外国との相互理解による国際社会への貢献」と「人間が自然を尊び調和しながら生きる社会の実現」です。

この目的に沿って、人文科学・社会科学の領域における以下の2カテゴリーの助成をおこないます。

カテゴリー

1

学部生の留学助成

カテゴリー

2

大学院生・研究機関在籍者の留学研究助成

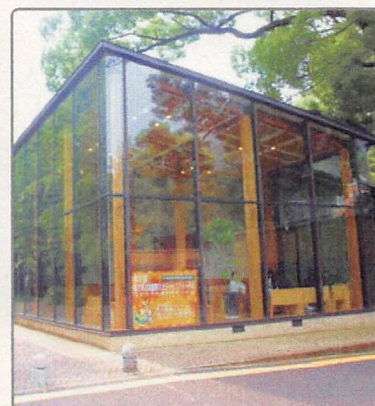
- ・世界的な視野に立った研究
- ・諸施策の提案、調査研究活動

研究・留学帰国後のスカラシップOBの助成・特典について

特典

松下幸之助国際スカラシップフォーラムでの発表のチャンス!

- スカラシップでの留学研究成果を発表するフォーラムに参加
- 毎年10月に東京大学弥生講堂にて開催
- 著名な講師による基調講演を同時に実施
- 発表者を対象にプレゼンテーション研修会で応援



■ 助成対象研究

アジア、アフリカ、ラテンアメリカ諸国の大学・大学院及び政府研究機関に所属しての調査研究
 この場合のアジアとは西は西アジア※1、中央アジア※2、北はモンゴル、南はインドネシアまでとします。
 アフリカはアフリカ大陸と周辺の島嶼部。ラテンアメリカはメキシコ以南 カリブ海地域を含みます。)

※1: アラビア半島6カ国、アフガニスタン、イラン、イラク、イエメン、レバノン、シリア、ヨルダン、イスラエル、トルコ、キプロス

※2: カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタン

●アジア、アフリカ、ラテンアメリカ研究のための米、欧、豪州などへの留学研究は対象外とします。

●調査研究を計画するにあたり、外務省の海外安全ホームページにある渡航情報に十分留意してください。

	カテゴリー 1 学部生	カテゴリー 2 大学院生・研究機関在籍者
応募資格条件	日本の大学に学部生として在籍する者	日本の大学・大学院ないしは研究機関に 学生・教員・研究員として在籍する者 ※学部生時に当留学助成を受けた者は大学院等に進学した場合も応募可能
	日本国籍を有する者（海外在住者は除きます。）	
	日本国に永住を許可されている者	
	認定式（2017年3月中旬を予定）出席後から2018年3月までに留学研究を開始する者 ※但し、同期間中に留学・研究が開始できるよう、留学・研究先の選定・入学手続きに関しては申請者本人が行うものとします。	
	留学研究する大学等において研究を進めるに十分な語学力を有する者	
	認定時（2017年3月末）に年令40才未満である者	
	他の奨学金を受給していない者（併願の場合、結果判明次第、当財団と相談してください。）	
募集人員	5名程度	15名程度
支給期間	9ヶ月～12ヶ月（1年）※学修の都合に応じて	1年～2年 ※3ヶ月単位
奨学金	月額14万円	
	●生活費、入学金、授業料、及び書籍代等研究に必要な諸経費、ならびに保険料など全て含みます。	
	●支給開始は、入学許可証（または受入許可証）及び入国査証提出後とします。	
渡航費	1往復分相当の補助 ※支給額は、渡航先、地域などにより異なります。（財団規定により設定）	
奨学生の義務等	●奨学金受領の際に近況を報告してください。（3ヶ月ごと）	
	●留学研究期間終了後1ヶ月以内に成果報告書及び会計報告書を提出してください。	
	●認定式（2017年3月中旬を予定、於大阪市内）に出席してください。	
	●フォーラム等、財団が行う関連の行事に参加してください。	
奨学金支給の停止	次のいずれかに該当するときは、奨学金の全部または一部の支給を停止又は返納を要請します。 - 留学研究先で在籍する機関から除籍された場合 - 病気その他の事由により所定期間内において目標の達成が困難と当財団が判断した場合 - 申請書類に虚偽の記載があった場合 - 奨学生に相応しくない行為があった場合 - 上記奨学生の義務を怠った場合	

03

選考方法

選考方法

当財団の選考委員会において、スカラシップの目的に合致する有為な人材を厳正かつ公平な選考にて決定します。

- 1次 書類選考(9月中旬に1次選考結果を通知します。)
- 2次 面接選考(時期:9月下旬、対象:1次合格者、会場:京都)

採否の通知

「採否」の結果は、10月中旬に電子メールにて通知します。
結果の理由に関するお問い合わせには応じかねますのでご了承ください。

04

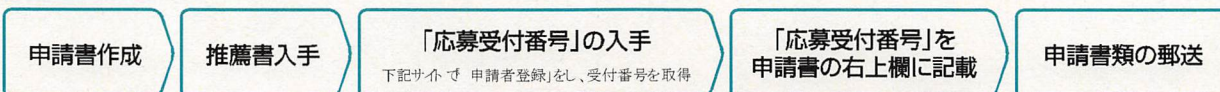
応募手続

申請書の入手方法

申請書は、財団のホームページに掲載していますので、ダウンロードしてご使用ください。

- 1** 学部生用 http://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/works/jpn/data/mk_shin_gakubu.doc
- 2** 大学院生・研究機関在籍者用 http://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/works/jpn/data/mk_shin.doc

申請方法



申請者登録サポ: <https://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/svstem/src/form/application.php?mode=3>

- ・下記申請書類(原本一式)を当財団「松下幸之助国際スカラシップ」係あてに郵送してください。
- ・パソコン(Word)をご使用いただき直接申請書に必要事項を打ち込んでください。
- ・フォントは「12」以上(原則)で記入(但し、No.1 奨学金申請書は除く)してください。
- ・申請時には指導教員(或いは適切と思われる関連分野の専門家1人に限る)の推薦書を原則として申請書と同封にて送付ください。

申請書類

	1 学部生	2 大学院生・研究機関在籍者
No.1	奨学金申請書	
No.2~No.3	留学計画書	研究計画書
No.4	経費計画書	
No.5	自薦書	
No.6	推薦書 ※指導教員、或いはそれに準ずる者の推薦	

注意事項

- 記載紙面の追加、規格外の紙面の使用および資料添付は受付いたしません。
- 極端に小さな文字を使い字数の多い(縮小コピー貼付も同様)申請書類は受付いたしません。
- 提出いただいた申請書類等は、返却いたしませんので必ずコピーを保管してください。
- 申請書類および推薦書の到着後1週間以内に受領連絡いたしますので、未着の場合は照会願います。
- 申請書類が著しく不備な場合(乱雑な文字も含む)選考対象外になることがあります。

応募書類受付期間:2016年6月1日(水)~7月22日(金)必着

ご応募のお問い合わせは原則としてEメール ajisuka@gg.jp.panasonic.com でご連絡ください。
ホームページの「FAQ」も事前にご確認ください。

ご応募・お問合せ先

公益財団法人 松下幸之助記念財団

〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006

☎ 06-6908-4488

✉ ajisuka@gg.jp.panasonic.com

2016年4月発行

2016年4月吉日

各位

公益財団法人ロッテ財団

「食と健康」の分野における 若手研究者対象の研究助成の公募を開始します

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、公益財団法人ロッテ財団では、このたび2017年度の研究助成事業として、下記の通り「研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉」および「奨励研究助成」の募集を行います。食と健康をメインテーマに、対象分野も広く設定しておりますので、農学をはじめとする自然科学分野のみならず、マーケティングや食文化研究等、社会・人文科学系の各学部・研究科の皆様にも広くご案内賜れば幸甚に存じます。

今後とも当財団研究助成事業へのご支援、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

【1】 研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉（募集期間4月1日～7月15日）

- (1) 助成金額：1,500万円
- (2) 助成期間：最長5年間（総額7,500万円）
- (3) 採択人数：2名程度
- (4) 特徴：
 - ・生活費相当額の支給
 - ・研究者と育成支援教員のペア応募
 - ・称号付与（大学との雇用契約の締結）

「研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉」については、以下の特徴があります。

- ① 現在、海外で研究中の研究者が帰国する際、帰国時に併せて研究開始時期が設定可能
- ② 年間1,500万円のうち、生活費相当分が700万円程度（法定福利費含む）、研究費として350万円程度が研究者本人へ支給。育成支援教員には育成費として研究費300万円、大学側には管理費として150万円支給
- ③ 大学の称号付与（例：特任助教）を条件としているため、安心して研究に専念可能

【2】 奨励研究助成（募集期間4月1日～6月24日）

- (1) 助成金額：最大300万円
- (2) 助成期間：1年間（但し、研究期間は3年まで選択可能）
- (3) 採択人数：10名程度
- (4) 特徴：自然科学系、社会・人文科学系などの広域科学分野からの応募が可能

以上

◆募集についての情報は財団ホームページをご参照ください。

財団ホームページアドレス <http://www.lotte-isf.or.jp>

お問い合わせ先（財団E-mail） lotte_zaidan@lotte.co.jp

2017年度研究助成事業 募 集 要 項

2016年4月
公益財団法人ロッテ財団

【目次】

はじめに.....	2
I. 助成対象分野.....	3
II. 各助成事業の募集概要.....	4
【研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉】	
〔1〕本助成の趣旨.....	4
〔2〕本助成の特徴.....	4
〔3〕助成金額・件数.....	4
〔4〕応募締め切り.....	5
〔5〕応募資格.....	5
〔6〕称号付与.....	6
〔7〕選考方法.....	6
〔8〕助成期間.....	6
〔9〕助成金の支払いおよび用途.....	6
〔10〕育成支援教員の役割.....	7
【奨励研究助成】	
〔1〕本助成の趣旨.....	4
〔2〕本助成の特徴.....	4
〔3〕助成金額・件数.....	4
〔4〕応募締め切り.....	5
〔5〕応募資格.....	5
〔6〕選考方法.....	6
〔7〕助成期間.....	6
〔8〕助成金の用途.....	6
III. 助成決定後の遵守事項.....	8
IV. 応募方法.....	8
V. 結果通知等.....	9
VI. 助成金の贈呈.....	9
VII. 個人情報の取扱いに関する事項.....	9
VIII. 申請書類送付および申請に関する問い合わせ先.....	10

はじめに

「食と健康」——人類史上、洋の東西を問わず、時空を越えて今に伝わるこの命題が、現在、21世紀最大の社会的関心事の一つとして再浮上しており、学術的にも人間科学の最重点課題の一つに挙げられるに至っています。一般社会も学界も、若き気鋭の研究者がこのテーマの推進活動に参入することに強い期待を寄せています。

一方、公益財団法人ロッテ財団は、財団を取り巻く社会環境の変化やそのニーズの多様化・高度化に伴い、財団のあるべき姿とは何かを模索して参りました。そして「食と健康」に対する社会の関心が高まる中、食品産業の一翼を担うロッテグループの社会貢献の一つとして、時代の要請を正面から受け止め、自然科学から人文・社会科学までの広い分野での諸課題の克服を通して、健康で真に豊かな社会の構築をめざす新たな歩みを開始する必要性に思い至りました。

本財団は、2013年4月から「研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)」と「奨励研究助成」という2つの大きな柱で助成事業を展開しています。具体的には、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた優秀で志の高い若手研究者とその研究を対象に、目新しいユニークな仕組みを取り入れた助成・支援を行っています。

ぜひ本趣旨にご賛同くださり、積極的にご応募されることを切望します。

I. 助成対象分野

研究助成事業では、次に挙げる分野を助成対象とします。

- ① 食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術
- ② 食品のマーケティング
- ③ 食文化
- ④ 嗜好性
- ⑤ 栄養
- ⑥ 食品安全・衛生
- ⑦ 上記①から⑥の複合領域

以下に具体的な例を示します。

- ①-1 健康の増進を目指す農・水・畜産食品開発の基盤となる新技術の研究
- ①-2 栄養性・嗜好性を損なわない新しい食品流通・保護・加工法の開発研究
- ①-3 副産物の活用に関する新技術の研究

- ②-1 食と健康を志向したマーケティングないしビジネスモデルの研究
- ②-2 食品の流通の研究
- ②-3 食と健康に関わる消費者行動の研究

- ③-1 菓子を含めた嗜好食品に関する食文化・伝統的技術を検証する研究
- ③-2 食と健康の消費文化変容に関する研究
- ③-3 食と健康に関する規制の現状と望ましい政策提言

- ④-1 味覚・嗅覚の末梢・中枢における感知・認知機構の解析研究
- ④-2 咀嚼・嚥下に関わる食品物性の解析・応用研究
- ④-3 嗜好と栄養の連動性に関する解析

- ⑤-1 栄養素・機能性食品成分の疾病予防効果を事前予知する研究
- ⑤-2 加齢と栄養の関わりや運動と栄養の関わりを検証する研究
- ⑤-3 消化管・膵臓・脳などに発現する味覚受容体の存在意義の解析研究

- ⑥-1 食の安全と衛生の評価法の開発研究
- ⑥-2 食品成分の摂取不足のリスクと摂取過剰のリスクに関する研究
- ⑥-3 食の安全・安心の社会的関心の高まりの変遷に関する調査研究

上記の例示並びにそれに類するテーマによる申請を歓迎します。

II. 各助成事業の募集概要

研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉	奨励研究助成												
<p>[1]本助成の趣旨</p> <p>本制度は、「食と健康」の分野において、優れた若手研究者がわが国トップクラスの研究者として成長することを願い、それにふさわしい支援を行おうとするものです。</p> <p>本制度は、日本国内の民間助成では新しい形態の研究者育成制度です。助成対象者には、育成支援教員のもとに安定した研究の場を確保しつつ、研究に必要な資金を長期にわたり助成します。</p>	<p>[1]本助成の趣旨</p> <p>本制度は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象とした助成制度です。自然科学から人文・社会科学にわたる「食と健康」の分野において、申請者の年齢分布や研究形態の多様性も考慮しつつ、独創的・先端的な研究に専念する優れた若手研究者を助成します。</p>												
<p>[2]本助成の特徴</p> <p>(1) 助成対象者へ生活費相当額の支援を行い、生活基盤の安定を図ります。</p> <p>(2) 助成対象者とその育成支援の役割を担う教員(以下、「育成支援教員」)をペアで助成し、助成対象者に対する組織内での研究体制をサポートします。(「[10]育成支援教員の役割」参照)</p> <p>(3) 助成対象者には、大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関(以下、「所属機関」とします)より有期のポストが付与されるという条件の下、組織内での安定した研究の場の確保を図ります。(「[6]称号付与」参照)</p> <p>(4) 助成対象者および育成支援教員に対し、最長5年間という長期にわたる助成を行います。</p>	<p>[2]本助成の特徴</p> <p>(1) 助成対象者には、1件あたり最大300万円を助成します。</p> <p>(2) 自然科学、人文・社会科学の広域科学分野からの応募が可能です。</p> <p>(3) 研究者の環境にあわせて研究計画を立てられるよう、研究期間が1年～3年まで選択可能です。</p>												
<p>[3]助成金額・件数</p> <p>(1)助成金額</p> <table border="1" data-bbox="213 1653 707 1787"> <tr> <td>1件あたりの年間助成金額</td> <td>1,500万円</td> </tr> <tr> <td>助成期間</td> <td>最長5年間</td> </tr> <tr> <td>1件あたりの助成金の総額</td> <td>7,500万円</td> </tr> </table> <p>(2)年間助成件数</p> <p>2件程度</p>	1件あたりの年間助成金額	1,500万円	助成期間	最長5年間	1件あたりの助成金の総額	7,500万円	<p>[3]助成金額・件数</p> <table border="1" data-bbox="871 1603 1389 1738"> <tr> <td>(1)1件あたりの助成金額</td> <td>最大300万円</td> </tr> <tr> <td>(2)年間助成件数</td> <td>10件程度</td> </tr> <tr> <td>(3)年間助成総額</td> <td>約3,000万円</td> </tr> </table>	(1)1件あたりの助成金額	最大300万円	(2)年間助成件数	10件程度	(3)年間助成総額	約3,000万円
1件あたりの年間助成金額	1,500万円												
助成期間	最長5年間												
1件あたりの助成金の総額	7,500万円												
(1)1件あたりの助成金額	最大300万円												
(2)年間助成件数	10件程度												
(3)年間助成総額	約3,000万円												

[4]応募締め切り

- (1) Web申請…2016年7月15日(金) 24:00まで
- (2) 申請書の郵送…7月19日(火)12:00までに財団必着のこと
* (1) (2)ともにそろった段階で正式受理とします。

[5]応募資格

将来、大学および公的研究機関において、「食と健康」に関する広域科学分野での研究で中核となることが期待される若手研究者のうち、2016年4月1日時点で以下の要件に該当する方が応募できます。

- (1) 30歳以上40歳以下の方とします。ただし、国籍は問いません。
- (2) 申請時点での所属先は国内・海外を問いませんが、助成期間中の所属先は国内のみとします。
- (3) 助成期間中に所属予定先の機関長(学部長・研究科長・研究所長等)の承認および育成支援教員の推薦を得て、育成支援教員の下に研究の場を確保し、独自のテーマで主体性を保ちつつ研究を遂行できる方とします。
- (4) 博士号取得者であること。かつ、取得後数年の研究実績を有する、または同等の能力を有する方とします。
- (5) テニユア(終身雇用)として勤務していない方とします。
なお、現在、所属機関等から給与を受けている方は、助成開始後の二重給与を認めませんのでご注意ください。
- (6) 他財団等からの助成については、研究課題名の重複や、エフォート管理上、研究費の過度の集中が認められた場合は採択しません。
- (7) 当財団の「奨励研究助成」と重複して応募することはできません。
- (8) 2016年11月10日(木)の面接審査および2017年2月16日(木)の贈呈式に、申請者本人および育成支援教員本人が必ず出席できる方とします。

[4]応募締め切り

- (1) Web申請…2016年6月24日(金) 24:00まで
- (2) 申請書の郵送…6月27日(月)12:00までに財団必着のこと
* (1) (2)ともにそろった段階で正式受理とします。

[5]応募資格

「食と健康」に関する広域科学分野での独創的・先端的な研究を行う若手研究者のうち、2016年4月1日時点で以下の要件に該当する方が応募できます。

- (1) 40歳以下の方とします。ただし、国籍は問いません。
- (2) 国内の大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関(以下、「所属機関」とします)に勤務する研究者の方で、博士号取得者または後期博士課程単位取得退学者の方とします。
- (3) 助成申請にあたり、応募は本人が行いますが、所属機関長(学部長・研究科長・研究所長等)の承認を得られる方とします。
- (4) 原則として個人研究が対象ですが、申請者が研究の代表者であり、かつ申請課題を遂行する上で必要である場合に限り、共同研究を認めます。
- (5) 一度採択された方は、助成初年度から数えて3年間は「奨励研究助成」の再申請を行うことはできません。
- (6) 他財団等からの助成については、研究課題名の重複や、エフォート管理上研究費の過度の集中が認められた場合は、採択しません。
- (7) 当財団の「研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)」と重複して応募することはできません。
- (8) 2017年2月16日(木)の贈呈式に申請者本人が必ず出席できる方とします。

[6] 称号付与

助成対象者が助成金の支給を受けるには、大学の施設を利用して有意義な研究活動を行うことができるよう、助成開始時(2017年4月1日)までに、特任助教などの称号を所属機関より付与されることを条件とします。

[7] 選考方法

2016年10月6日(木)開催予定の研究助成事業選考委員会にて一次選考を行います。

一次選考結果の合否については、同年10月13日(木)までに連絡を差し上げ、一次通過者は11月10日(木)の最終選考会にて、申請者本人と育成支援教員と共に面接を受けていただきます。国内外にかかわらず往復交通費(実費)を支給する他、国内宿泊費(上限15,000円)を支給します。日程の変更はできませんのでご了承ください。

助成対象者は、2016年11月22日(火)開催予定の理事会において決定されます。

なお、選考の過程において、当財団は選考に利害関係のない有識者に申請書を送って評価意見を求めることがあります。

[8] 助成期間

原則、2017年4月から2022年3月までの最長5年間とします。

[9] 助成金の支払いおよび用途

(1) 助成金は、助成対象者が所属することとなる機関に対して支払います。内訳例は次のとおりです。

(例) ・助成対象者の生活費相当額	700万円(変動項目)※1
・助成対象者の研究費	350万円(変動項目)
・育成支援教員の研究費	300万円(固定項目)※2
・所属機関の管理費	150万円(固定項目)
合計金額	1,500万円

[6] 選考方法

2016年10月6日(木)開催予定の研究助成事業選考委員会にて選考を行い、同月18日(火)開催予定の理事会において助成対象者が決定されます。

なお、選考の過程において、当財団は選考に利害関係のない有識者に申請書を送って評価意見を求めることがあります。

[7] 助成期間

2017年4月から1年間です。ただし、研究期間は申請時に選択していただき、最長3年間まで可能とします。助成金は、研究期間にかかわらず、最大300万円が助成開始時に支払われます。

[8] 助成金の用途

助成金の用途は、助成対象者の研究に直接必要な経費とします(設備備品類、消耗品費、旅費等)。ただし、以下の費用は対象外とします。

- (1) 建物等の施設に関する経費(直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付等のための経費を除く)
- (2) 助成期間中に発生した事故・災害の処理のための経費

※1 助成対象者本人の生活費相当額の決定にあたっては、財団と所属機関が協議し、助成対象者の職位・年齢等に対応するとみられる標準給与を参考に決定します。なお、生活費相当額には、社会保険料や所得税等も含まれます。

※2 育成支援教員に対しては、助成対象者の研究上の独自性を最大限尊重し、研究に専念できる環境が提供されることを期待して、助成金 1,500 万円の中から研究費として年間 300 万円を最長 5 年間にわたって支給します。なお、いずれの研究費についても年次ごとの会計報告が必要です。

(2) 研究費の使途は、助成対象者については研究に直接必要な経費とします(設備備品類、消耗品費、旅費等)。一方、育成支援教員については、教員自身の判断で、助成対象者の環境整備を含む育成支援費、およびそれに関連するサポートを含む育成支援教員の研究費とします。

ただし、以下の費用は対象外とします。

- ① 建物等の施設に関する経費(直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付等のための経費を除く)
- ② 助成期間中に発生した事故・災害の処理のための経費
- ③ 助成対象者が所属する組織のオーバーヘッド
- ④ 助成対象者および育成支援教員本人への人件費・謝金

[10] 育成支援教員の役割

- (1) 助成対象者の研究の独自性を最大限尊重していただきます。
- (2) 助成対象者を研究室に受け入れ、研究活動ができるスペースの確保等、研究に専念できる環境づくりに協力していただきます。
- (3) 助成対象者が研究機器等を使用することを可能な限り認めるなど、研究の推進に支障のないよう心がけていただきます。
- (4) 助成対象者が国際的にトップレベルの研究者として成長することを願い、それに相応しい支援を行う役割があります。

(3) 助成対象者が所属する組織のオーバーヘッド

(4) 助成対象者および共同研究者本人への人件費・謝金

Ⅲ. 助成決定後の遵守事項

助成決定後、助成対象者には、主に以下の事項を遵守していただきます。

- (1) 年次研究計画書および年次予算書に基づき、研究活動を行っていただきます。
- (2) 年次報告書および最終研究報告書については、それぞれの期間終了後 2 か月以内に、財団事務局まで提出していただきます。
- (3) 当財団の助成研究の成果については、学会等での積極的な論文発表や口頭発表をお願いします。研究成果を発表する場合は、当財団の助成を受けたことを記載してください。
「研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉」の助成対象者の方は、研究成果の発表の際には、「**〈ロッテ重光学術賞〉**(英文表記:**Lotte Shigemitsu Prize**)受賞」と記載してください。
「奨励研究助成」の助成対象者の方は、「**ロッテ財団 奨励研究助成**(英文表記:**Lotte Research Promotion Grant**)受賞」と記載してください。
また、口頭発表の場合は予稿のコピー、論文発表の場合は別刷りを財団事務局宛に提出していただきます。なお、研究成果に基づいた知的財産権は、所属機関の規程により処理してください。
- (4) 助成期間中に、所属機関の異動や職位の変更(「研究者育成助成」の場合は、テニユア職への移行を含む)、連絡先の変更、研究計画や支出計画の変更等が発生した場合には、すみやかに財団までご連絡ください。
特に、「研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉」においては、助成対象者がテニユア職に就いた時点で助成を終了させていただきます。

Ⅳ. 応募方法

1. Web申請

上述のWeb申請締め切り日までに、当財団ウェブサイトの「Web申請」ページより申請を行ってください。

2. 申請書類

下記(1)～(2)の書類を「WEB 申請」ページからアップロードしてください。

また、下記(1)～(2)を各1部、上述の郵送応募締め切り日までに財団まで郵送してください。

- (1) 申請書類 *当財団ウェブサイトよりダウンロードしたもの
「研究者育成助成」:【A1】【A2】【A3】
「奨励研究助成」: 【B1】【B2】
- (2) 論文 *原著論文のうち、本申請に関連のある主要論文
「研究者育成助成」 :5 報(【A1】[8]「業績リスト」中、①～⑤まで優先順位をつけたもの)
「奨励研究助成」 :2 報(【B1】[10]「業績リスト」中、①、②と優先順位をつけたもの)

3. 申請書類記入・郵送上の留意点

- (1) 申請書類は日本語で記入してください。
- (2) 申請書類の記入方法については、必ず「記入要領」の注意事項をお読みください。
- (3) 申請書、論文を郵送する際は、すべて A4 判片面コピー(白黒)とし、クリップで留めてください(ホッチキス不可)。
- (4) 郵送は、配達が可能である方法(特定記録、簡易書留、宅配便、レターパックプラス等)により募集期間内に到着するように、余裕を持って発送してください。(封筒のおもて面には「研究者育成助成申請書類在中」もしくは「奨励研究助成申請書類在中」と朱書きしてください。)

なお、提出いただいた書類はいかなる場合でも返却いたしません。

V. 結果通知等

「研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)」については、一次選考結果を10月13日(木)まで、最終合否結果を11月25日(金)までにメールまたは文書で通知します。

「奨励研究助成」については、最終合否結果を10月25日(火)までにメールまたは文書で通知します。

なお、採否の理由についての照会には回答いたしかねます。

VI. 助成金の贈呈

1. 贈呈式

2017年2月16日(木)に実施される贈呈式には、必ず助成対象者本人(「研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)」の場合は育成支援教員本人も)に出席していただきます。(代理出席はご遠慮いただいております。欠席の場合は、採択を取り消すこともあります)

2. 助成金振込時期・振込先

2017年3月末までに、助成対象者が4月以降に所属する機関の指定口座に振込みます。(助成対象者の個人口座への振込はできません。)

VII. 個人情報の取扱いに関する事項

1. 当財団の研究助成への応募にかかわる全ての個人情報は、選考に関する手続き(審査と当財団からの連絡)のみに使用します。
2. 助成決定後、当財団に「個人情報の取扱いに関する同意書」を提出し、併せて主として当財団の刊行物とホームページ等に以下(1)～(8)の情報を公開することに同意していただきます。
 - (1) 所属機関等の承認者氏名、所属機関名、職位
 - (2) 助成対象者・育成支援教員の氏名、所属機関名、職位、肖像写真

- (3) 研究課題名
- (4) 申請研究の内容
- (5) 研究期間
- (6) 助成金額
- (7) 研究成果報告
- (8) 財団主催の行事に参加した際、財団で撮影した写真

VIII. 申請受付、書類郵送先および問い合わせ先

1. 申請受付

下記ホームページより「マイページ」にログインし、登録・基本情報の入力、および申請書類のアップロードを行ってください。

ロッテ財団ホームページ : <http://www.lotte-isf.or.jp>

2. 書類郵送先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-20-1

公益財団法人ロッテ財団 研究助成担当 宛 (TEL 03-5388-5564)

3. 問い合わせ先

メールアドレス lotte_zaidan@lotte.co.jp

電話でのお問い合わせは受け付けていません。必ずメールでお願いします。

「第6回(平成29年度)三島海雲学術賞」推薦要項【人文科学部門】

本賞は、財団法人三島海雲記念財団設立50周年(平成24年)を機に、設立者三島海雲の「自然科学と人文科学の学術振興こそが日本の発展の原動力となり、人類の福祉の向上に寄与する。」との思いを継承すべく創設しました。

1. 目的

自然科学及び人文科学の学術研究領域において、とりわけ、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援してゆくことを目的とします。

2. 対象分野

人文科学部門 アジア地域の歴史を中心とする人文科学に関する研究
(但し、日本を中心とする研究は除きます。)

3. 賞の内容

- 1) 受賞者には賞状ならびに副賞(1件当たり200万円)を贈呈します。
 - 2) 件数は1件以内とします。
- なお、選考の結果、該当者なしの場合もあります。

4. 候補者の資格

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により独創的で発展性のある顕著な業績を挙げている者のうち、下記の条件を満たす若手研究者

- 1) 45歳未満の者(平成29年4月1日現在)
- 2) 平成26年8月から平成28年9月に刊行された著書(単著)を有する者
- 3) 日本在住の研究者(国籍は問いません)及び海外在住の日本人研究者(日本国籍を有するもの)

5. 推薦者

- 1) 本財団より推薦依頼を受けた学会及び大学等研究機関(部局)の代表者
 - 2) 本財団より推薦依頼を受けた出版社の部門代表者
 - 3) 本財団の理事及び評議員(但し、選考委員は除く)
- 1 推薦者につき2件以内の推薦を可とします。

6. 推薦方法

- 1) 所定の「推薦書」に必要事項を記載し、推薦者の署名捺印のうえ、著書(図書)1部を同封し、本財団宛に郵送願います。
- 2) 推薦書はホームページ(<http://www.mishima-kaiun.or.jp/>)からダウンロードしてご利用ください。

7. 推薦期間

平成28年8月1日～同年9月30日（当日の消印有効）

8. 選考方法

選考委員会で審査し、理事会の承認を経て決定します。

9. 結果の通知

採否の結果は、平成29年4月上旬頃までに候補者及び推薦者に通知します。

10. 贈呈式

平成29年7月上旬を予定しています。

なお、贈呈式には受賞者本人にご出席いただきます。

11. 推薦書宛先及びお問合せ先

公益財団法人 三島海雲記念財団

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-6-10 ジラッフアビル

電話 : 03-5422-9898 FAX : 03-5422-9733

E-メール : mishimak15@mishima-kaiun.or.jp

URL : <http://www.mishima-kaiun.or.jp>

(担当) 中村・山田

以上

公益信託 小貫英教育学研究助成記念基金
平成 28 年度 「小貫英教育賞」 及び懸賞論文 募集要項

1. 基金の目的と事業内容

協同出版創業者 故小貫英氏のご遺志と、協同出版株式会社をはじめご賛同いただいた方の篤志により、わが国の教育学・心理学の発展に寄与するため、教育学・心理学の分野における研究者等の研究活動に対して、助成金・奨励金を給付します。

2. 応募規定

申請区分	応募資格	本年度の応募対象論文
(1) 研究論文 (小貫英教育賞)	教育学・心理学を研究対象とする大学院・大学・短大・高専の教授・准教授・講師・助教・助手・大学院生で又は研究機関の研究員・研究生で、かつ 40才以下の方。	心理学分野におけるオリジナリティーを持った新規の研究で、学位(博士)論文または学位(博士)論文を構成する研究として進めているもの。 400字×200枚程度(日本語) なお、論文要約を提出のこと
(2) 懸賞論文	教員志望の方 (大学在学・既卒は不問)	テーマ : 「子供の自立と社会参画を促すための指導上の工夫」 400字×8~20枚(日本語) なお、400字程度の要約を申請書に記入

*上記(1)、(2)いずれも未発表論文にかぎります。

3. 研究助成金・研究奨励金

申請区分	件数及び金額	
(1) 研究論文 (小貫英教育賞)	1編	40万円
(2) 懸賞論文	最優秀論文 (1編)	10万円
	優秀論文 (1編)	5万円

4. 応募の手続

当基金所定の申請書に必要事項を記入し、論文を添えて下記宛先へご郵送下さい。申請書は下記照会先記載のURLからダウンロードして下さい(お電話でのご請求も承ります)。
なお、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

5. 募集期間

平成 28 年 8 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日 (必着)

6. 選考及び通知

募集締切り後に開催する本基金運営委員会において選考決定の上、平成 29 年 2 月頃にその結果を書面にてお知らせします。
また受賞された懸賞論文につきましては、その後に発刊されます月刊「教職課程」(協同出版株式会社刊)誌上でも発表の予定です。
なお、電話によるお問い合わせには応じられません。

7. その他

- (1) 助成金・奨励金は、指定の銀行口座等へ振り込みます。
- (2) 偽りその他不正な手続により賞金の交付を受けた場合には授与した助成金・奨励金は返還して頂きます。

【申請書及び論文の提出先・照会先】

〒105-8574	東京都港区芝 3-33-1 三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ 小貫英教育学研究助成記念基金 申請口
TEL 03-5232-8910	(受付: 平日 9 時~17 時) FAX 03-5232-8919
申請書URL	http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html

平成28年5月

各 位

公益財団法人
りそなアジア・オセアニア財団

平成28年度 りそなアジア・オセアニア財団
「助成事業 環境事業」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、当財団の活動につきまして格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当財団は、平成23年に公益財団法人に移行しましたが、平成元年の財団設立以来、我が国とアジア・オセアニア諸国・地域との国際交流を通じて相互理解の増進に寄与することを目的とし、様々な活動を行っています。

今年度も、
アジア・オセアニア諸国や地域に関する政治、経済、文化、歴史等の調査・研究、国際会議等の国際交流事業や出版等の啓発・広報活動等に対する助成事業や、
アジア・オセアニア諸国や地域における水や緑をテーマにした自然環境の保護や整備を目的とする環境事業を行っており、公募により意欲的な応募が寄せられることを期待しております。

本事業を貴方ご関係者の皆様に広くお知らせいただければ幸いです。

詳細は、同封資料をご覧ください。応募の申込用紙は当財団ホームページよりダウンロードして頂けます。(http://www.resona-ao.or.jp/)

末筆ではございますが、皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

公益財団法人 りそなアジア・オセアニア財団 (担当 井上)
〒541-0051 大阪市中央区備後町2丁目1-1 第二野村ビル5F
T e l : 0 6 - 6 2 0 3 - 9 4 8 1 F a x : 0 6 - 6 2 0 3 - 9 6 6 6

助成事業 応募要項

助成の趣旨

当財団は、我が国とアジア・オセアニア諸国・地域との国際交流を通じて相互理解の増進に寄与することを目的とし、アジア・オセアニア諸国・地域に関する社会・人文科学分野（政治、経済、文化、歴史等）の調査・研究や国際会議等の国際交流活動や出版等の啓発・広報活動等に対して助成を行っています。

現在は、特に政府などの公的機関や一般企業からの支援を得にくい若手研究者（20代後半～30代前半）や研究機関への助成に重点を置いています。

募集する助成対象

調査研究助成

- ・我が国及び海外の若手研究者による個人研究
- ・共同研究プロジェクト

国際交流活動助成

- ・国際会議、シンポジウム等開催助成
- ・研究者交流助成（人材招聘、派遣等助成）

啓発・広報活動助成

- ・出版助成

助成対象とならないもの

- ・営利を目的とした調査研究活動
- ・研究会の開催、海外への出張、PC・機械備品等の購入のみを目的とした活動
- ・授業料、生活費自体への支援

助成金受給者の義務

助成金受給者は弊財団と『覚書』を締結し、これに基づき、助成期間中1年毎に中間報告書と会計報告書を、終了後には活動完了届、活動報告書、会計報告書をそれぞれご提出いただきます。

助成の概要

調査研究、国際交流活動

募集制限

要推薦／海外日本人可／在日外国人可・推薦外国人可（ただし共同研究は日本人を代表者とする）／地域制限（アジア・オセアニア諸国、地域）／年齢制限（若手研究助成については原則申込書提出時期35才以下で当該研究に2年以上携わっている方を対象）

事業内容

セミナー事業

開催情報

講演録

助成事業

調査研究助成

国際交流助成

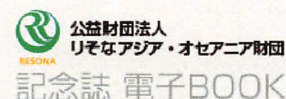
啓発・広報活動助成



応募要項

環境事業

環境プロジェクト助成

応募要項



募集期間	平成28年6月13日～平成28年7月29日 (必着)
活動期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日 (予定)
助成期間	1年～2年 (但し、継続する活動についても翌年 再度「申請書」を提出いただき、選考を受けるものとします。)
助成実績 件数・金額	【平成27年度】 調査研究助成 …19件 [合計] 13,660千円 国際交流活動助成 …1件 [合計] 1,200千円 啓発・広報活動助成 …2件 [合計] 2,400千円
1人当りの 助成金額	個人研究助成… 50～150万程度 共同研究助成… 100～200万程度 ★ 金額は、活動の内容及び規模により、案件毎に査定いたします。 ★ 個人が一般的に使用するパソコン購入費、学会等への出席に係る経費は、調査研究助成の対象外となりますので注意下さい。
選考方法	助成「申込書」による第1次選考(平成28年10月中旬) 助成「申請書」による第2次選考(平成29年3月上旬)
採否について	第1次選考…結果は申込者全員に 文書で通知 いたします。 (10月中旬予定) 第2次選考…29年3月(予定)の理事会にて最終決定され、 結果は申請者全員に 文書で通知 いたします。 (3月上旬予定)
応募方法	弊財団所定の「申込書」に必要事項を記入の上、弊財団宛 書留便 にてお送り下さい。 注) ※送付の際は、「 申込書(原本) 」に「 写し(A4)7部 」 (各部 毎セットしたもの)並びに「 返信用封筒(角2 240x332mm 120円切手貼付・返信先を明記) 」を同封願います。 ※ファクシミリによる申込受付は致しません。
	<p>申込書</p>  <p>Download </p> <p>エクセルのダウンロードはこちら</p>


留意事項

- ※ご提出いただいた「申込書」「申請書」等をご返却いたしません。
- ※採否結果の理由に関するお問い合わせには応じ兼ねますのでご了承下さい。

「申込書」送付先

公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団
〒541-0041 大阪市中央区備後町2丁目1番1号 第2野村ビル5階

電話 (06) 6203-9481
FAX (06) 6203-9666
E-Mail/info@resona-ao.or.jp

 [ページの先頭へ戻る](#)

ホーム	事業内容	お問い合わせ		
財団について	セミナー事業	助成事業	環境事業	個人情報保護方針
アクセス		調査研究助成		
		国際交流助成		
		啓発・広報活動助成		



電子BOOKをご覧いただくためにはAdobeFlashPlayer最新版が必要です。
AdobeFlashPlayerは左記のバナーよりダウンロードください。

(C)The Resona Foundation for Asia and Oceania All Rights Reserved.

環境事業 応募要項

助成の趣旨

当財団は、アジア・オセアニア諸国における自然環境の保護及び整備を目的とした環境事業を行っています。これは、アジア・オセアニア諸国における水や緑をテーマにした自然環境の保護及び整備等のプロジェクト並びにこれ等の活動を行う人々に対する支援を行うものです。

自然環境の整備という、大がかりな事業を考えがちですが、ちょっとした創意と工夫で、小さな活動でも大きな成果を生む事があります。地域の人々を活動に巻き込む事、がその創意と工夫だと思えます。

ちょっとした「きっかけ」で、あとは自発的に人々が活動や事業を継続していく。その「きっかけ」となる事、に助成できればと思います。

別の言い方をすれば、小さな事が大きく育つことの「媒介（mediation）」という事になります。地域の生活実態を無視した事業に「持続性」はありません。自然保護が、地域の人々の生活を守ることになり、さらには生活の質の向上につながる、そのような助成ができればと思います。

募集する助成対象

- ・アジア・オセアニア諸国や地域における豊かな緑ときれいな水を守る事業
- ・当該地域ですでに萌芽的な活動が行われ、応募者がすでに何らかの形で活動に関与している事業

助成対象とならないもの

- ・調査研究を主体とした事業
- ・日本人の海外出張のみを目的とした事業

助成金受給者の義務

当財団は、本事業を、当財団と助成受給者との協働作業と考えています。助成金受給者は当財団と『覚書』を締結し、これに基づき、終了後の会計報告書を提出して頂くと共に、簡潔な完了報告書の提出をお願いしています。

助成受給者に求めたいのは、事業開始前・途中に、事業計画や事業経過について、当財団とコミュニケーションを密接にすることです。（その為に財団と助成受給者の交流会を催す事も考えています。）財団と助成受給者が交流を頻繁に行う事により、助成活動をよりよいものにしていきたい、と考えています。

助成の概要

環境事業

募集制限 要推薦／海外在住日本人可／在日外国人可・推薦外国人可（ただし共同事業は日本人を代表者とする）／地域制限（アジア・オセアニア諸国、地域）／年齢制限なし

募集期間 平成28年6月13日～平成28年8月31日（必着）

事業内容

セミナー事業

開催情報

講演録

助成事業

調査研究助成

国際交流助成

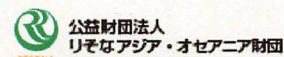
啓発・広報活動助成

応募要項

環境事業

環境プロジェクト助成

応募要項




記念誌 電子BOOK



活動期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日（予定）
助成期間	1年～3年 （但し、継続する活動についても翌年 再度「申込書」を提出いただき、選考を受けるものとします。）
助成実績 件数・金額	【平成27年度】 11件 【合計】 10,970千円
1人当りの 助成金額	50万円～100万円 ★金額は、活動の内容及び規模により、案件毎に査定いたします。
選考方法	助成「申込書」による第1次選考（平成28年10月中旬） 面接による第2次選考（11月中旬）を経て最終決定（平成29年3月上旬）
採否について	第1次選考…結果は申込者全員に 文書で通知 いたします。 （10月下旬予定） 第2次選考…29年3月（予定）の理事会にて最終決定され、 結果は申請者全員に 文書で通知 いたします。 （3月上旬予定）
応募方法	弊財団所定の「申込書」に必要事項を記入の上、弊財団宛書留便にてお送り下さい。 注）※送付の際は、「 申込書（原本） 」に「 写し(A4)6部 」 （各部毎セットしたもの）並びに「 返信用封筒（角2 240x332mm 120円切手貼付・返信先を明記） 」を同封願います。 ※ファクシミリによる申込受付は致しません。

申込書



Download ▾

[エクセルのダウンロードはこちら](#)

留意事項

- ※ご提出いただいた「申込書」等をご返却いたしません。
- ※採否結果の理由に関するお問い合わせには応じ兼ねますのでご了承下さい。

「申込書」送付先

公益財団法人 りそなアジア・オセアニア財団
〒541-0041 大阪市中央区備後町2丁目1番1号 第2野村ビル5階
電話 (06) 6203-9481
FAX (06) 6203-9666
E-Mail/info@resona-ao.or.jp